



平成 18 年 7 月 1 日 発行

(社)牛久市シルバー人材センター広報部会

牛久市女化町859-3

電話029-871-1468

e-mail usiku@sjc.ne.jp

会員数 男性 364 名 女性 122 名 合計 486 名 5 月末日現在

平成18年度通常総会開催

各部会長より事業活動報告

平成 18 年 5 月 25 日(木)午前 10:30
牛久市総合福祉センターにて今年度の
通常総会が開催されました。
出席者 53 名、委任状 300 名、
計 353 名。平成 17 年度事業
報告と収支決算報告、役員
選任の議事が承認されました。



実現に向けて既存の安全部会・
広報部会に加えて総務部会・
事業部会を立ち上げ活発
な会員活動を行う事
が出来ました。

17 年度事業実施報告・主内容:

会員参画を基本とした就業先の
開拓と運営基盤の強化を軸に顧客満足
度の向上、就業事故ゼロを目指し事業を
進めて参りました。自立した会員組織の

平成 17 年度事業実績

- 契約金 170,032,159 円
- 配分金 152,435,171 円
- 会員数 479 人
- 就業延人員 41,013 人

各部会の活動内容報告



総務部会

1. 「会員手引き」の作成

シルバー人材センターをより一層理解して頂く為
に取り組みました。一読後のご意見を聞か
せて下さい。

2. 地域班設立の検討(目的の明確化)

- ①地域に根ざした活動を展開する。
- ②地域に住む会員同志の融和・連携・協調を
図る。

事業部会

事業の拡大と未就業会員の就業先の検討

- ◇ 現在テストケースとしてカタログによるリ
サイクル販売品の実施方法を検討していま
す。

◇ 植木剪定作業の受注機会損失の防止

受注に応ずるため、植木剪定会員の増強、
会員募集及び会員の養成を計画中です。

広報部会

1. 分かりやすい紙面づくり

活字を大きくし、グラフ・図を取り入れ、
読みやすくする。

3. インタビューや取材活動を中心とした「生の記事」 を集め、ドキュメンタリーな報道記事を掲載。

4. 会員参加の投書欄を作り、会員コミュニケーションの 場作りを進める。

2. 写真・写真を多用。レイアウトに余裕を持たせ、 視覚的に快い紙面づくり。

安全部会

常日頃の安全に対する意識の徹底

- ◇ 特に季節の変わり目に対する安全就業の
徹底 5 月 25 日現在 100 日を目標に無事故
記録を更新中。この記録を 200 日、300
日と伸ばしていきたい。

安全パトロールの実施

- ◇ 安全意識の高揚を図るため、前年度は 6 月
と 2 月の 2 回作業現場を巡回、今年度も安全
パトロールを実施して無事故記録の延伸を
目指す。

◇シルバー人材センターに入って◇ 投稿記事

定年退職後は毎日が日曜日で、初めの内は自由気ままな生活で、楽しいものでした。

現職の頃のように絶えず時間を気にして行動する事が、殆んどなくなったからでしょうか。それから半年、一年と過ぎると、いくら気楽でも時には緊張感が恋しくなる時があります。勿論そんな事を全然感じなく、毎日を楽しく送られている方も多いと思います。

たまたま趣味で知り合いの H さんとお話する機会がありました。この方は、私より 3 歳程年上ですが、実に健康そうで、生き生きしておられます。お話によりまずとシルバー人材センターでの紹介の仕事が月に 10 日程されているとの事でした。そして「あなたもやってみたら・・・」言われました。それから後、私も考えて、体力的にも自信がありましたので、挑戦してみようと決心いたしました。責任感と緊張感で心身を刺激して、ホケ防止に役立てたいと思いました。

早速シルバー人材センターに申し込みました。間もなく仕事を紹介されました。その職場では、経験豊富な職歴の方々との出会い、教えられる事が多くありました。そうして現在も、従事いたしております。お蔭様で健康な毎日を送らせて頂いております。

H.A



暑い中での活動、ご苦勞様です
体に気を付けて一緒に頑張りましょう。 広報部会一同

●事務局の取り組み

事務局では、一人でも多くの会員の皆さんが元気で仲良く楽しく安全に就業できることを目指しています。皆さんの多様な就業希望全てにお答えするべく、少人数の事務員で全力で取り組んでおりますが、なかなか思うようにいきません。

また最近では、定年の引上げや継続雇用制度の導入等により就業内容が複雑で過酷なうえ、就業時間が短いものや年齢制限・請負金額の削減・稼働就業会員数の削減などが発生しており登録した全ての会員の皆さんに均等な就業提供が出来ていないのが現状です。

そこで、まずは未就業の会員さんを中心に再度面会し現在の健康状況や希望職種等の再確認を行いたいと考えています。積極的に事務所までお越し下さい。

また、現在就業中の会員の皆さんも現在の就業が体力的に厳しくなってきた等、就業先の変更希望等ありましたらお知らせ下さい。

●事務局から会員の皆さんへのご連絡

平成 18 年度分の会費 1,500 円（シルバー人材センター傷害・賠償責任保険代）の納入をお願い致します。未納の方はお早めにセンター事務所にて納入をお願い致します。



趣味

短歌

町じゅうをくまなく回り
ゴミ拾う「ごくろうさま」と
ねがら 労われつつ

井上梅太

俳句

幾重にも 落葉しきつめ 山眠る
井上梅太

2万人の 祭はやすや 鯉幟
くらべ馬 春から夏を 駆け登り
母の日や 紫陽花おきて 吾子巣立つ
金巖閑話

川柳

寿命には 逆らえぬゆえ 墓を買う
井上梅太
孫帰り 台風一過 ホットする
ダボハゼ

シルバーの みんなそれぞれ 知恵袋
ダボハゼ
夏場所や 怪我も栄誉も 紙一重
金巖閑話

就業先・紹介

こんにちは

H18-6-12(月)

訪問先：(有) パレストラ 「スポーツクラブ牛久」

応接者：マネージャー 荒井 広幸氏

企業概要：会員制スポーツクラブ、会員数 2500 名、1 日の利用者約 800 名、指導員約 30 名体制、会員年齢 50~60 才が多い、内女性会員が 8 割を占める。

現況：シルバー人材センターからは女性 5 名での室内清掃でお世話になっています。契約取り交わし後 6 年が経ちますが「人のコミュニケーションが

第一」といわれる会社

の方針に沿いシルバーの方

は大変好く気が付き

熱心に仕事をしている

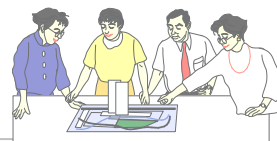
とお褒めに預かりました。

今後とも是非、継続していきたいとのことです。



記者感想：スポーツクラブ内に入りますと、若いエネルギーがみなぎっていました。従業員の皆さん全員が笑顔で利用者の方々に、指導対応している姿は、活気に溢れ、すがすがしさを感じました。又シルバー人材センターの賛助会員としても、いつも協力していただき感謝しています。

シルバー人材センターと福祉



—前編— シルバー人材センターの成り立ち

文・副理事長 鈴木伊平

昭和 53 年東京都世田谷区から始まったシルバー人材センター事業も、2 年後の昭和 55 年国の施策として全国的に広まっていきました。

シルバー人材センターは自主・自立・共同・共助の理念のもと、高齢者の福祉向上のために創設されたものであります。

戦後のめざましい経済発展の担い手・推進役であった企業戦士が、その企業を定年となり、いきなり戦場から娑婆に入ってしまうのではなく、いわゆる軟着陸をはかり、徐々に一般社会に慣れ溶け込んでいくそんな施策と理解しております。

この戦いの社会から融和の社会へと徐々に溶け込むこの施策は、元気で働けるものはいつまでも元気で…という、時代を先取りした先見性のあるものとして高く評価されております。

「身は使わなければ朽ちていく…」のように、いくら健康が自慢でも家に閉じこもってしまえば朽ちてしまう。シルバー人材センターで働いておれば朽ちてしまうことはないであろう。

牛久市シルバー人材センターは平成 3 年ミニシルバー人材センターとして設立され、平成 10 年 4 月に社団法人牛久市シルバー人材センターとなり、高齢社会の一翼を支える団体として重要な役割を果たし、現在に至っております。

次号へつづく

賛助会員紹介 いつもご支援いただきましてありがとうございます。



スポーツクラブ牛久
牛久市南 2-34-13
電話(872)6460



医療法人 つくばセトラル病院
牛久市柏田町 1589-3
電話(872)1771



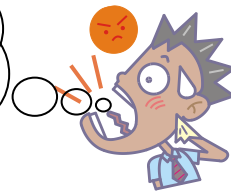
(有)長浦自動車工業
牛久市さくら台 1-77-4
電話(872)2921



安全部会だより

熱中症に注意!

熱い!
水だ!



7月 は「シルバー人材センター安全・適正就業

強化月間」で、全国統一安全就業スローガンは、昨年度と同じ「安全で活かせるシルバーの知恵と技」となっています。

事故から身を守るためには、一人ひとりが「安全は自己管理」という意識を持つことが必要です。

仕事を開始する前に、自分の体調がいつもと少し違う時は、遠慮せず周囲に伝えることがチームワークの良好な維持につながり、事故の予防にもなります。

急ぎの仕事になったときや、通常の作業手順と異なったときの連絡方法などに、事故の要因が潜んでいることを認識しておく必要があります。

指示されている作業手順、方法を自分なりの解釈で、横着して行動し、結果として誤った作業になったことによる、周囲への混乱などが事故を誘発することになります。

事故の要因は様々などころにあり、少しでもヒヤリ、ハッとしたときには冷静に反省して、再発防止

の対応を考えることは大変重要なことでもあります。

当安全部会は、会員の安全就業（事故ゼロ）の手助けとなるような方策を検討しており、この安全就業強化月間に因んで、各作業現場に**安全パトロール**と称しておじゃま致します。

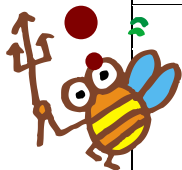
その際、会員の皆様からご意見、要望なども伺い、更なる安全就業推進に参考とさせていただきます。但し、全部の現場への巡回は不可能なため、期間中、訪問ができなかった現場の皆様には、電話等でご意見をお寄せ頂ければ、ありがたいと考えております。

尚、(社)茨城県シルバー人材センター連合会に於いても、この安全就業強化月間の行事のひとつとして「安全就業推進大会」を開催いたします。当センターからも数名の出席を予定していますので、次号の会報で参加報告をいたします。

「安全作業推進経過報告」

最近の事故、怪我の発生状況			年間発生 件数の累計 4月～
4月1日～6月12日	件数	発生状況(概略)	
就業途上、帰途の交通事故	0	—	0
自動車、バイク	0	—	0
自転車、徒歩	0	—	0
就業中の事故、怪我	0	—	0
蜂、毛虫等の被害	0	—	0
墜落、転落	0	—	0
飛来物落下	0	—	0
転倒	0	—	0
機械、器具取扱中	0	—	0
荷物積み降し作業中	0	—	0
		—	
物損賠償事故(客先への損害)	0	—	0
合計	0		0

油断して
ると
刺
ぞ!



事故ゼロ 91日継続中

平成18年6月12日現在